

事業状況報告書

2022年度 事業状況報告書(2023年5月)

事業状況報告書 別表1

1. 概要

当財団定款第4条に基づき、科学技術に関する調査・研究開発に対する助成事業を実施しました。

なお、国際交流活動助成については、世界的に流行していました新型コロナウイルス(オミクロン株)感染防止のため募集を中止しました。

2. 助成事業

「2022年度研究開発助成応募要領」等を定め、助成対象を募集しました。その選定については、2022年度の選考委員会において慎重審議が行われ、その答申に基づき第4回理事会において次の通り決定がなされました。

調査・研究開発助成：10件 助成総額：998万円

- ① 太陽光をエネルギー源とする化学物質合成システム 北海道大学
- ② ヒトの上肢筋配置を規範とした協働ロボットによる高効率・センサレス力制御の提案 名古屋大学
- ③ 合鴨農法を規範とする水田除草ヘビ型ロボットの開発 千葉工業大学
- ④ 新規電解質構造体によるスーパーハイレートリチウムイオン電池の創製 埼玉県産業技術総合センター
- ⑤ ダイヤモンドへの100um以上深さの垂直穴加工を実現する3次元微細加工法の開発 (公財)高輝度光科学研究センター
- ⑥ 黒鉛化を促進する酸化物ナノ粒子を用いた単結晶ダイヤモンド薄膜の高速研磨 大阪公立大学
- ⑦ 慣性センサーを用いたオーダーメイドな歩行のリアルタイムフィードバックの臨床応用 鹿児島大学
- ⑧ 超音波ニューロモデュレーションを用いた非侵襲的な脳刺激法の開発とてんかん治療への応用 杏林大学
- ⑨ シート型ベッドセンサを用いた非拘束心音計測技術の確立 山形大学
- ⑩ 磁性ナノ粒子を用いた細菌、ウイルス同時検出IoTセンサの開発と在宅医療への実証実験 東北大学

3. 理事会等の開催

2022年度中に開催された会議は次の通りです。

[理事会]

第1回 理事会 2022年5月18日(理事会の決議の省略)

定款32条第2項、法人法第96条の規程(理事会の決議の省略)により、市川光夫代表理事から提案があり、理事全員から全提案に対し同意書による同意確認がとれたので、理事会

において当該提案が承認可決されたものと致しました。

提案1. 「2021 年度事業報告の承認の件」

提案2. 「2021 年度決算承認の件」

提案3. 選考委員会規程の改訂の承認の件

提案4. 「2022 年度定時評議員会招集および提出議案の承認の件」

第2回 理事会 2022 年 6 月 1 日〔新型コロナウイルス(オミクロン株)感染防止のため書面開催〕

定款 32 条第 2 項、法人法第 96 条の規程(理事会の決議の省略)により、市川光夫代表理事から提案があり、理事全員から全提案に対し同意書による同意確認がとれたので、理事会において当該提案が承認可決されたものと致しました。

提案1. [報告事項] 職務執行状況の報告の件

国際交流活動助成の中止の件

提案2. [決議事項] 選考委員会 選考委員選出の件

第3回 理事会 2022 年 6 月 15 日〔新型コロナウイルス(オミクロン株)感染防止のため書面開催〕

定款 32 条第 2 項、法人法第 96 条の規程(理事会の決議の省略)により、市川光夫代表理事から提案があり、理事全員から全提案に対し同意書による同意確認がとれたので、理事会において当該提案が承認可決されたものと致しました。

提案1. 選考委員会 委員長の選定の件

提案2. 代表理事および業務執行理事の選定の件

第4回 理事会 2023 年 3 月 8 日〔新型コロナウイルス(オミクロン株)感染防止のため書面開催〕

定款 32 条第 2 項、法人法第 96 条の規程(理事会の決議の省略)により、市川光夫代表理事から提案があり、理事全員から全提案に対し同意書による同意確認がとれたので、理事会において当該提案が承認可決されたものと致しました。

提案1. 事業報告の件

(1)2022 年度 国際交流活動助成の応募状況報告の件

(2)2022 年度 決算見込報告の件

(3)2022 年度 研究開発助成の応募状況報告の件

(4)2022 年度 過年度助成先アフターフォロー活動報告の件

提案2. 決議事項の件

第 1 号議案 2022 年度研究開発助成における助成先と助成額決定の承認の件

第 2 号議案 2023 年度「事業計画」の承認の件

第 3 号議案 2023 年度「収支予算書」の承認の件

第 4 号議案 2023 年度「資金調達および設備投資の見込み」の承認の件

[評議員会]

定時評議員会 2022 年 6 月 3 日〔新型コロナウイルス(オミクロン株)感染防止のため書面開催〕

定款 19 条、法人法第 194 条の規程(評議員会の決議の省略)により、市川光夫代表

理事から提案があり、評議員全員から全提案に対し同意書による同意確認がとれたので、評議員会において当該提案が承認可決されたものと致しました。

提案 1. 決議事項

- 第 1 号議案 2021 年度事業報告の承認の件
- 第 2 号議案 2022 年度事業計画等の報告の件
- 第 3 号議案 2021 年度計算書類・付属明細書の承認の件
- 第 4 号議案 2021 年度貸借対照表および財産目録の承認の件
- 第 5 号議案 理事の選任の件
- 第 6 号議案 評議員の補欠選任の件

[選考委員会]

日 時 2022 年 12 月 13 日 (火曜日) 午前 9 時 30 分～12 時 00 分
場 所 ホテルオークラ東京 プレステージタワー41階 「ルミエール」の間
東京都港区虎ノ門2-10-4
出席選考委員 5名 (現在員数 5名 定足数 3名)

議 案 (1) 2022 年度 研究開発助成対象課題の選定の件

4. 役員等に関する事項

2023 年 3 月 31 日現在の役員、評議員、選考委員の定員および現在員数は次の通りです。

	定員	現在員数	備考
理 事	3人以上6人以内	6 人	—
監 事	1人以上2人以内	1 人	—
評 議 員	3人以上6人以内	6 人	—
選考委員	5人以上8人以内	5 人	—

事業状況報告書

2022年度 研究開発助成 課題・金額等

事業状況報告書 別表1

(単位:万円)

No.	課題名	申請者(敬称略)	助成額
	生産分野応募 23件 助成 6件		598
2	太陽光をエネルギー源とする化学物質合成システム	北海道大学 大学院工学研究院 材料科学部門 助教 石田 洋平	100
6	ヒトの上肢筋配置を規範とした協働ロボットによる高効率・センサレス力制御の提案	名古屋大学 大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 特任助教 佐藤 隆紀	100
11	合鴨農法を規範とする水田除草ヘビ型ロボットの開発	千葉工業大学 先進工学部 未来ロボテック学科 教授 青木 岳史	100
12	新規電解質構造体によるスーパーハイレートリチウムイオン電池の創製	埼玉県産業技術総合センター 生産技術・事業化支援室 電気・電子技術・戦略プロジェクト担当 栗原 英紀	98
17	ダイヤモンドへの100um以上深さの垂直穴加工を実現する3次元微細加工法の開発	(公財)高輝度光科学研究センター 放射光利用基盤センター 回析・散乱推進室 研究員 岡田 京子	100
21	黒鉛化を促進する酸化物ナノ粒子を用いた単結晶ダイヤモンド薄膜の高速研磨	大阪公立大学 大学院工学研究科 物質化学生命系専攻・化学工学分野 教授 齊藤 文靖	100
	医療・福祉分野応募 15件 助成 4件		400
5	慣性センサーを用いたオーダーメイドな歩行のリアルタイムフィードバックの臨床応用	鹿児島大学 医歯学総合研究科 先進治療科学専攻運動機能修復学講座 整形外科学 特任助教 宮崎 宣丞	100
9	超音波ニューロモデュレーションを用いた非侵襲的な脳刺激法の開発とてんかん治療への応用	杏林大学 医学部 病態生理学教室 講師 三嶋 竜弥	100
11	シート型ベッドセンサを用いた非拘束心音計測技術の確立	山形大学 有機エレクトロニクス研究センター プロジェクト教員(准教授) 熊木 大介	100
14	磁性ナノ粒子を用いた細菌、ウイルス同時検出IoTセンサの開発と在宅医療への実証実験	東北大学 医工学研究科 教授 藪上 信	100